

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成  
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 19 日 作成

事務事業名		トレーニングルームインストラクター配置事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局	課長名	西川正則
	施策	20	生涯学習の推進			所属課	生涯学習課	担当者名	中山 あや
	基本事業	70	生涯学習・スポーツ施設(環境)の整備			所属班	スポーツ振興班	(内線)	1505
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果	5
		1	10	6	2	10843		コスト削減優先度評価結果	9
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H7 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	・安全にトレーニング器具を活用した健康・体づくりの指導を行うためトレーニングインストラクターを配置する 平成7年度ヴィーブル開館と同時に機能の充実を図るために開室。 インストラクターの入れ替わりが早く人材確保に苦慮している。 利用者も専門性、ステイタスを求める上級者も増え機器やトレーニングに対する要望も専門的になってきている。 合併後は旧西合志からの利用者も増えている。
【業務の流れ】	・インストラクターの退職に伴う新インストラクターの任用業務 ・インストラクター報酬の支払い業務
【主な予算費目】	・報酬
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	議会(常任委員会)からはインストラクターが辞めていく理由として業務に対して給料が安いのではないかと指摘されたこともある。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO) インストラクター4名を配置し、利用者に対する指導、助言、機器の点検、清掃を行った。	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) インストラクター4名を配置し、利用者に対する指導、助言、機器の点検、清掃を行う。
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 ⇒ア 開室日数	(単位) 日 イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 市民	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ⇒ア 市民 人 ⇒イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) トレーニングルームを利用する 自分の目標とする「テーマ」毎にトレーニングできる	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ⇒ア 利用者数 人 ⇒イ 体力測定者数 人
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 多くの方にトレーニングルームを利用してもらうため。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込	
④ 活動指標	ア	日	290	292	295	295	295	295	295	
	イ									
⑤ 対象指標	ア	人	53909	54518	55124	54,856	55732	56281	56829	
	イ									
⑥ 成果指標	ア	人	19690	20702	21000	20630	21000	21000	21000	
	イ	人	104	95	100	139	140	140	140	
投資 入 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	5,249	5,497	5,695	5,270	5,498	5,498	5,498
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	1,459	1,211	1,245	1,670	1,356	1,356	1,356
	(A) 事業費計	千円	6,708	6,708	6,940	6,940	6,854	6,854	6,854	
	(A)のうち指定経費	千円								
	(A)のうち時間外、特勤	千円								
人 件 費	正規職員従事人数	人	2	2	2	3	3	3	3	
	延べ業務時間	時間	80	25	25	80	80	80	80	
	(B)人件費計	千円	318	100	100	318	318	318	318	
トータルコスト(A)+(B)		千円	7,026	6,808	7,040	7,258	7,172	7,172	7,172	

総トータルコスト 全体計画 ～ 年度	0
(期間限定複数年度のみ記載)	0
	0

事務事業名	トレーニングルームインストラクター配置事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	-----------------------	-----	----------	-----	-------

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷ 一般の利用者は微増傾向だが、会社の福利厚生として契約していたソニーセミコンダクタ九州が平成20年度で撤退したため、社員の利用が減ったことが原因の一つだと考えられる。
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷ PRを行い利用者増に努める。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷ もっとPRを行えば利用者数は向上する。 曜日によってまた、昼・夜で利用者数にばらつきがあるので、少ない時間帯の向上を考える。 新規利用者を中心に定期利用の促進やプログラム指導など適切なサービスを行えば成果は上がる。 定期的にメニューを消化する利用者が増えれば必ず利用に満足する方は増える。また、機器環境整備が必要である。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 現在嘱託職員4名で運営しているが、安い報酬なのでなかなか永く続けてもらえない。 指定管理者制度に移行すれば、今以上のサービスを提供しながら、事業費を抑えることができるかもしれない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷ インストラクター4名の年間報酬と、トレーニングルーム年間収入の額はほぼ等しい。 しかし、賃金の値上げ等見直す余地はある。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷ 専門的な知識が必要なので難しい。

## 3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

<p>インストラクターの入れ替わりが多い。 インストラクターの労働条件を見直す必要がある。</p>
---

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止    <input type="checkbox"/> 休止    <input checked="" type="checkbox"/> 目的再設定    <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携    <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善)    <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>・指定管理者制度の導入を検討 ・インストラクター報酬額の再考 ・インストラクターの資質向上</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						
<p>(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 インストラクターの定職化(報酬の増額、勤務時間等) 指定管理者制度の導入</p>																							